

平成26年度 部局長マネジメント方針

やまもと よしのり
教育総務部長 山本 義範



仕事に対する基本姿勢

東大阪市の公立学校園に通う子どもたちにとって、良好な教育環境を確保し続けていくことは、我々、教育委員会に課せられた大きな使命のひとつであると私は考えております。

教育環境の整備は、子どもたちの安全・安心の確保と、子どもたちがのびのびと学校生活を送れる環境の整備の両面で進めていくことが大切です。

子どもたちの安全・安心を確保するうえで、学校園施設の耐震化は最も重要な施策であると考えており、市長部局と連携しながら耐震化の推進に全力で取り組んでまいります。

また、学校トイレの洋式化をはじめとする老朽化した学校トイレの改修は、子どもたちの「学校トイレに行けない症候群」というかたちで社会問題化していることにも見られるように、子どもたちのよりよい学校生活のために必要な施策であると認識しており、スピード感を持って取り組んでまいります。

さらに、学校施設における熱中症対策や数多く存在する老朽化施設のリフレッシュ改修もあわせて進めてまいりたいと考えております。

学校施設の整備につきましては、今後も引き続き、子どもたちの安全確保を最優先に鋭意進めてまいりますので、市民のみなさまにおかれましては、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

平成26年度に取り組む重点課題

1 小中学校施設の耐震化

市立学校施設に通う子どもたちや学校関係者の安全を確保するため、市長部局と協力し、平成25年度の15小中学校に引き続き、平成26年度は31小中学校の校舎耐震工事を実施します。

なお、小中学校施設の耐震化は、平成27年度に整備率100%となるよう取り組んでいきます。

2 学校トイレの洋式化

平成25年度よりスタートさせた学校トイレの洋式化事業について、平成26年度も引き続き24小中学校の学校トイレのリフレッシュ整備（和式便器の洋式化・トイレ施設全体の乾式化等）を実施します。

なお、学校トイレの洋式化は、耐震化事業の進捗を見ながら、今後、可能な限り整備スピードを加速させていきます。

3 公立学校施設の暑さ対策

市立小中学校の熱中症対策として、平成26年度は12小学校の普通教室にドライ型ミストを設置します。また、校舎の耐震工事に併せて中学校14校のエアコンを更新します。

老朽化した中学校のエアコン更新は、校舎の耐震工事に併せ、平成27年度に整備率100%となるよう取り組んでいきます。

4 幼稚園園舎の耐震化

市立幼稚園に通う子どもたちや幼稚園関係者の安全を確保するため、平成25年度に実施した園舎耐震診断の結果に基づき、平成26年度以降、園舎の耐震化計画の策定を進めていきます。

5 学校プールの改修

本市の学校プールは、昭和50年代に建設されたものがその大半を占めており、その多くはアルミ製プールとなっています。

しかし、未だにスチール製、コンクリート製のプールも数校残っていることから、これまで年に1校のペースで進めてきた学校プール改修を加速させるとともに、学校校舎の耐震化等、度重なる大型工事による学校運営への影響の軽減するため、平成26年度は耐震化工事と併せ4校の学校プールを改修します。

6 大規模営繕・学校整備事業

市立学校施設に通う子どもたちが、安全に、かつ快適な学校生活を送ることができるよう、学校施設の初期機能を維持するための老朽化対策、災害時の避難経路にもなる外部階段や外壁改修、消火栓設備や自動火災報知機等の消防設備、キュービクル、受水槽等設備の更新について、平成26年度も精力的に進めていきます。

7 学校現場職員のスキル・資質の向上

学校現場における環境整備担当職員となる学校校務員の配置については、効率的な学校運営として経費（特に人件費）抑制の中で非常に厳しい状況にありますが、その限られた人員状況のもとでも、最大限の学校環境を維持・充実させるため、担当者のスキル及び資質の向上を図るとともに、学校環境整備に邁進できるようなシステムの構築が必要です。

様々な研修を実施してスキルアップ及び熱い情熱を醸成できるような資質の向上を図るとともに、限られた人員体制の中でも学校環境整備の充実が図れるよう職務の合理化を進めながら、熱意ある職員育成システムを構築させていきます。